

令和7年3月31日

令和7年度 小麦生育状況 (令和7年産 No. 3)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室

(TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

1 気象経過

根雪期間は、12月14日から2月24日までの73日間であり、平年より5日少なかった。

2月第3半旬頃から、気温は平年並～高く経過した。

2 生育概況

「ゆきちから」・「ナンプコムギ」の生育は、草丈は平年並～短く、 m^2 当たり茎数は平年より多くなった。「ナンプキラリ」は、草丈は前年より短く、 m^2 当たり茎数は平年並となった(表2)。幼穂の生育は、Ⅶ後期であり、幼穂長は1.4～1.1mm程度で、前年並～やや短くなった(表3)。

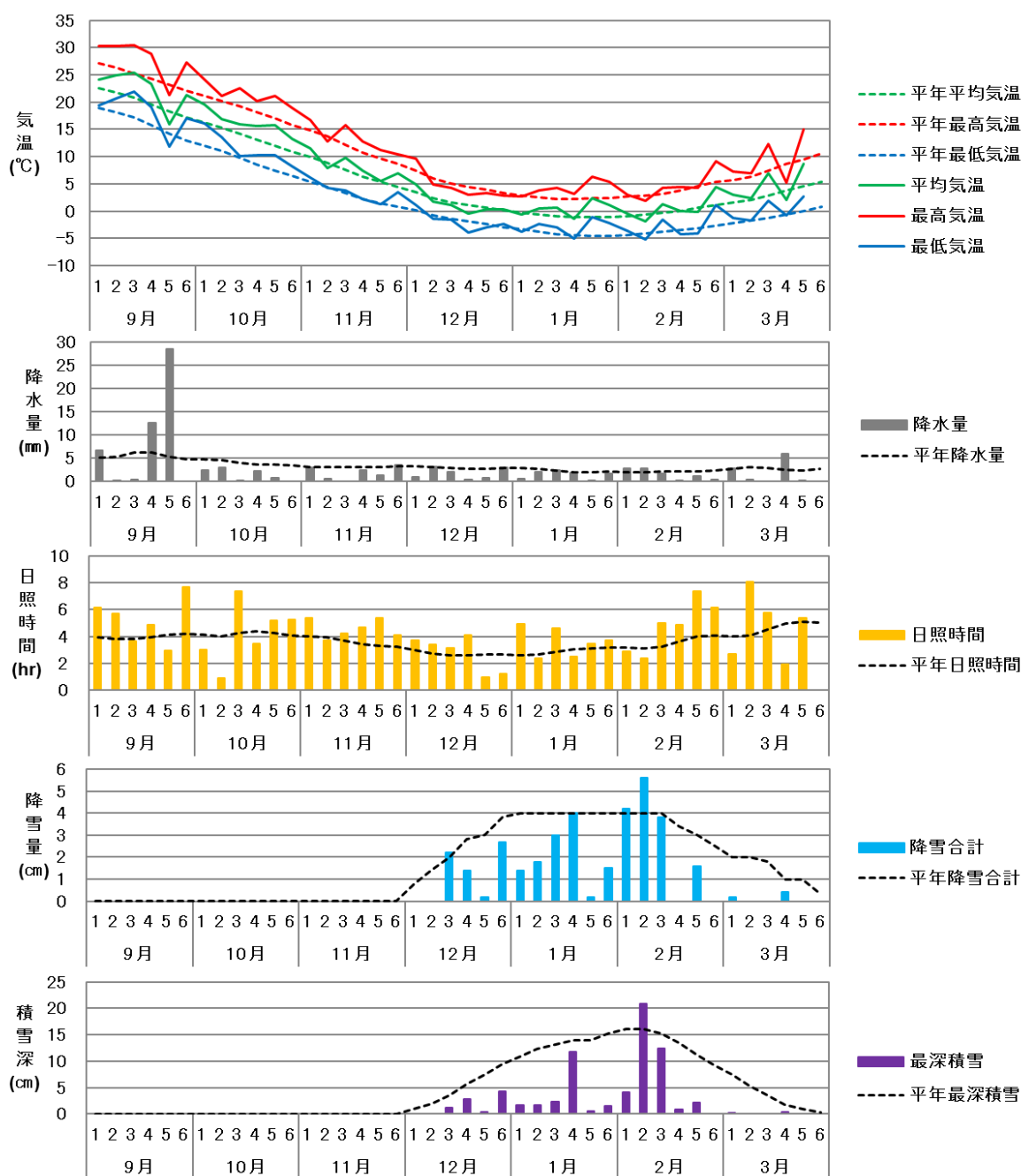


図1 令和6年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図(北上アメダス)

表1 根雪期間

年次 播種－収穫	根雪期間			積雪+降雪日数
	始め	終わり	日数	
R6-7	12/14	2/24	73	
R5-6			0	52 ※
R4-5	12/15	2/27	75	
R3-4	12/25	3/15	81	
R2-3	12/14	2/27	76	
R1-2			0	44 ※
H30-31			0	45 ※
H29-30	12/12	3/14	93	
H28-29	1/9	3/13	64	
H27-28	1/14	2/14	32	
H26-27	12/2	2/28	89	
H25-26	12/20	3/24	95	
H24-25	12/24	3/15	82	
H23-24	12/23	3/27	96	
平年	12/22	3/8	78	

根雪期間

- ①長期積雪(積雪継続が30日以上)の時の初日から終日までの期間
 ②積雪継続が10日以上の間が2つ以上で、かつ、2つの期間の無積雪日が5日以内
 ③上記②が2つ以上ある場合はそれぞれを第一、第二とし、根雪期間は第一の初日から第nの終日とする。

※は、気象庁の定める長期積雪(根雪期間、積雪継続が30日以上)を満たしていない年次

表2 生育状況(令和7年3月25日調査)

品種	播種年次	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/㎡)
ゆきちから	6年	15.9	8.8	1,172
	平年	17.0	8.1	933
	差・比	-1.1	0.7	126%
	(参考)5年	17.2	9.0	1,039
ナンプコムギ	6年	17.7	9.2	1,088
	平年	17.5	8.2	739
	差・比	0.2	1.0	147%
	(参考)5年	17.4	9.7	823
ナンプキラリ	6年	19.1	8.8	965
	5年	20.4	8.8	950
	差・比	-1.3	0.0	102%

注) 平年値は、令和元年～5年播種の5か年平均を用いた

表3 幼穂の生育状況

品種	播種年次	発育ステージ	幼穂長 (mm)
ゆきちから	6年	VII後	1.42
	5年	VII前期～後期	1.38
	差	—	0.04
ナンプコムギ	6年	VII後	1.34
	5年	VII後期～VIII	1.48
	差	—	-0.14
ナンプキラリ	6年	VII後	1.12
	5年	VII後期～VIII	1.28
	差	—	-0.16

※ 5株/品種の主茎の幼穂を調査。
※ 発育ステージは、「コムギ・オオムギの発育調査基準の再整理（2022）」より推定

表4 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンプコムギ、ナンプキラリ
播種期	令和6年10月9日（標準播種期：10月5日）	
栽培様式	密条播（条間30cm）、転換1年目（前作水稻）	
播種量（kg/10a）	7.0（手播き）	6.0（手播き）
堆肥・緑肥（kg/10a）	牛糞堆肥1,000	
施肥量(kg/10a) 基肥	窒素：6.0 リン酸：8.5 カリ：8.5	
施肥量(kg/10a) 追肥	融雪期：N4.0（3月25日）	融雪期：N2.0（3月25日）

雑草・病虫害防除

雪腐病（種子消毒）	ベフラン液剤25：原液
縞萎縮病（播種前）	フロンサイドSC：600mL※(10月3日)
除草剤（播種後）	リベレーターG：5kg（10月12日）
除草剤(秋)	エコパートフロアブル:100mL※(11月15日)
雪腐病(根雪前)	フロンサイドSC:100mL※(12月2日)

※100Lの水で希釈し10aに散布



写真1「ゆきちから」のほ場の様子



写真2「ナンブコムギ」のほ場の様子



写真3「ナンブキラリ」のほ場の様子